

アトラマスター使用説明書

1998年7月
航空工学教室

目次

1. はじめに	2
2. アトラマスターって何?	2
3. 使用方法	2
4. 使用上の注意	4
5. 保管場所	4

1. はじめに

本 使用説明書は アトラスタ加工に関わる基礎事項のみを解説します。実際には、必ず平川技官と相談しながら安全に作業してください。

2. アトラスタって何？

鉄工室のボール盤では加工できない物 あるいは場所で 穴あけ加工を行う道具、アトラスタを電磁石で固定し 電動ドリルを支持することになる。したがって、電磁石のつかない場所ではまず鉄板等をとりつける必要がある。電磁力は、結構強いので、壁面や天井面の穴あけ加工も可能である。

- ・ アトラスタ (ATRAmaster) (株)日東工器 M-130
- ・ 電動ドリル (Electric Drill) (株)日立 BU-PN2

仕様

穴あけ加工できる穴の径は (2mm から) 13mm まで です

3. 使用方法

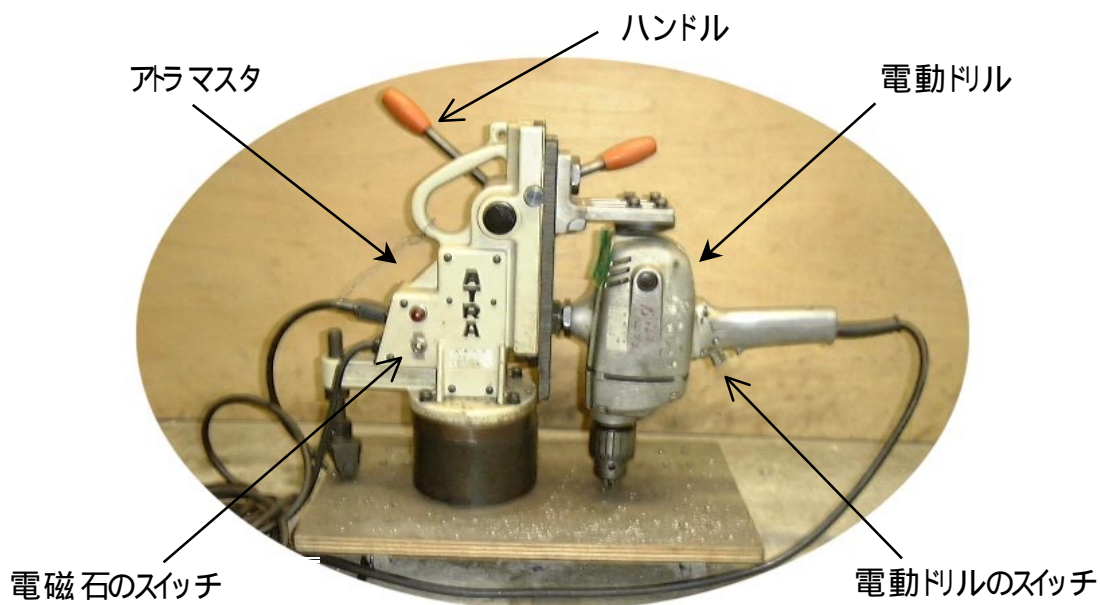


図1 アトラスタ全体

各電源スイッチがオフになっていることを確かめて、プラグをコンセントに差し込む。電動ドリルのプラグはアラマスターのコンセントに差し込む。コンセントがゆるくなっているため、現在は図のように針金で支えている(図 2)

(かならずしもアラマスターのコンセントを使わなければいけないと言わけではない)

(安全のため、電動ドリルのプラグはアラマスター固定後に入れた方が良い)

穴をあけたい位置に、ドリルの先がくるようにアラマスターの台座を持っていき、電磁石のスイッチ(図 4)を入れ固定する。固定後の微調整は図 2のレバーを緩めることによって可能である

ドリルをしっかりと取り付けるスイッチ(図 3)を入れてみて、心がぶれていないことを確認する。



図 2

あとはボール盤の作業と同じである。スイッチ(図 3)を入れ、ハンドルを回して送り、掘り下げていく。図 3のスイッチは指を離すと自動で切れるようになっているので、それを図 3のロックボタンを押すことによって切れないように出来る。ロック解除はロックボタンをもう一度押し、押し上げる。油をさし、潤滑冷却をしながら、またぎこをとりながら、徐々に掘り下げていく。

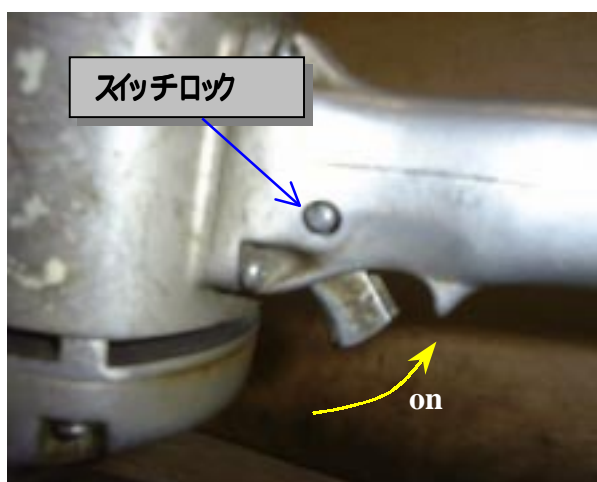


図 3

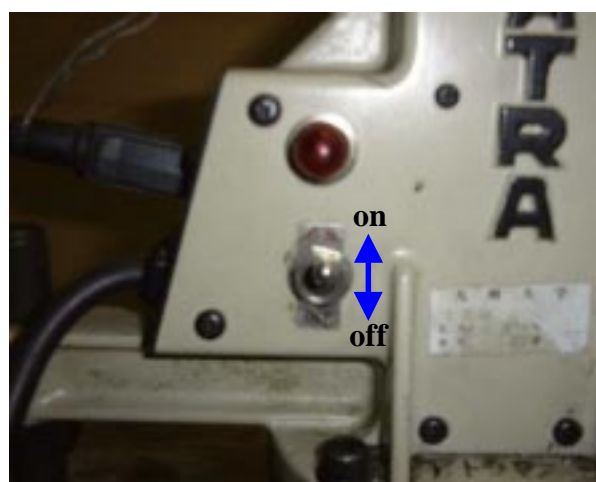


図 4

4. 使用上の注意

電気が切れると電磁力はなくなます。

特に 壁面や天井の作業では 突然の停電にも対処できるような作業環境をつくってください。また 不用意にプラグがコンセントから抜けないように 十分に注意をはってください。

その他 基本的な注意事項は ボール盤 同 じ だ す。

切れない刃(ドリル)を使わないように！

確実に注油し 潤滑・冷却を怠らないように！

安全な作業環境を整えてから 作業をはじめるように！

整理 整頓！

作業終了後は 切り屑を除去 清掃し 整頓して、次の人がスムーズに作業にとりかかれるように 指定(所定)の場所に返却してください。

5. 保管場所

ボール盤使用説明書の 7. 鉄工室ボール盤設置場所の図に記載しています。

参考にした文献・資料等

・なし

初版 1998 年月, 新本 : mill@aero.kyushu-u.ac.jp